
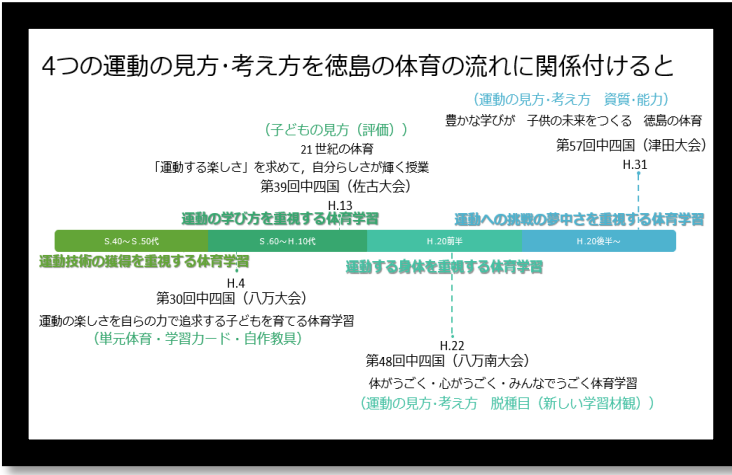


令和3年度 中・四国各県の研修会【報告】

【徳島】県

研修会名称	第67回徳島県小学校体育指導者講習会	
期 日	令和3年7月30日(金)	
会 場	鳴門教育大学附属小学校を本部にZOOMにて開催	
内 容	<p>8:30 ~ 9:00 受付・接続確認</p> <p>9:00 ~ 9:10 開講式(・会長挨拶 ・日程説明, 諸連絡)</p> <p>9:15 ~ 10:00 講演1 鳴門教育大学 教授 湯口 雅史 先生 「これから求められる学校体育」</p> <p>10:10 ~ 10:40 グループ討議</p> <p>10:40 ~ 10:50 休憩・チャット質問</p> <p>10:50 ~ 11:30 講演2</p> <p>11:30 ~ 11:45 閉講式(・指導主事講評 ・諸連絡, 解散)</p>	
報 告	<p>コロナ禍での実施であったことから、オンライン(ZOOM)での研修となった。鳴門教育大学湯口教授を講師にお招きし、「これから求められる学校体育」という演題で講演、協議が行われ、講師、役員等も含め、142名の参加があった。</p> <p>講演1では、湯口先生より、体育科の見方・考え方について、徳島県の体育科の歴史や流れ、子どもが夢中になって挑戦できる授業環境の整備の考え方等を中心に講演いただいた。その後、19のグループ(ZOOMのブレイクアウトルームにて小グループ化)に分かれ、グループ協議の時間をとった。グループ協議では、日頃の体育授業における悩みや、場の設定、見取りや評価の仕方、コロナ禍における体育授業の工夫の仕方などの意見交換等が行われた。講演2では、グループ協議で出てきた内容をもとに、湯口先生が質問に答えていくというQ&A方式での講演が行われた。</p> <p>講習会終了後にweb上でのアンケートを実施すると、参加者からは、2学期からすぐにでも授業に取り入れたいといった声や、体育の見方・考え方について理解できたといった声が多く聞かれた。徳島県のめざす体育科の方向性についても改めて共有でき、コロナ禍でも充実した研修となった。</p>	 

【徳島】県

研修会名称	第63回徳島県小学校体育科教育研究大会
期 日	令和3年11月19日(金)
会 場	鳴門教育大学附属小学校, 助任小学校を本部にZOOMにて開催
内 容	<p>8:15 ~ 8:30 受付・接続確認</p> <p>8:30 ~ 8:45 研究説明</p> <p>8:45 ~ 9:30 公開授業視聴(オンライン) ①表現リズム遊び ②ゲーム ③陸上運動</p> <p>9:30 ~ 10:30 公開授業研究協議 ※各領域ごと</p> <p>10:30 ~ 10:45 移動・休憩</p> <p>10:45 ~ 12:00 提案発表協議 ①体づくり②ボール運動③器械 ④陸上⑤水泳⑥表現⑦保健</p> <p>12:00 ~ 12:15 諸連絡, 解散</p>
報 告	<p>コロナ禍での実施であったことから, オンライン(ZOOM)での研究大会となった。 研究授業については, 事前に録画し, 編集した上で, 当日参観者にオンライン上で授業参観してもらい授業研究会も行った。 指導助言者, 役員, 会場校職員等も含め, 348名の参加があった。 会場校の先生方が, 子どもの意識を見取りながら授業の展開を考えられている姿がオンライン上でも見とることができ, 印象的であった。分科会Ⅱでは各郡市趣向を凝らした内容の発表であった。特に「保健領域」においては, 養護教諭の先生方の積極的な会への参加の様子があり, 授業研究会が盛り上がっていた。 オンライン上での発表と言うことで, プレゼン等の操作に戸惑う分科会もあったが, 限られた環境の中で活発な意見交換が行われ, コロナ禍でも充実した研究会となった。</p>